

【2016年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	19,599	97.9	→
支出	17,646	107.4	↑
経常収支差額	1,953	54.5	↓

評価：学生さんは10名。手を伸ばせば人に当る、叩いてしまう環境から昨年引越し環境整備などに力をいれた1年。休みがちな方には訪問も実施し稼働率の低下の対処も支援と同時に実施した。引越しを行い諸経費が増加した



② 職員配置と研修（職員数は2017年1月現在）



常勤職員2名・パートスタッフ3名・運転手1名・現場は合計MAX5名/日配置。パートさんとの情報共有など行い、支援や実践準備を任せる事で、時間外業務など円滑に行えるチーム作りを更に精度をあげる。研修は職員が自発的に受講しているPECS、発達障がいの方の関わりなどより現場に活かせる研修を受講している。パートさんにはOJTで伝達して、チームで支援する形を模索している。

③ 事業内容

2017年度は新入生5名のクラスになります。2年生4名の合計9名。基本的に学生さんの力に合わせた支援を実践しながら、今ある力を決め付けずに実践していきます。個々の力を支援しつつ、集団でも発揮できるように調理・音楽・ヨガ・調理決めミーティング(MT)・キャンプ決めMTなど学生が決める(選ぶ)支援をおこなった。遠足、キャンプ、地域のお祭りなどに参加した。昼食は近隣のお弁当屋さんがメニュー選択に協力していただきご飯の楽しみも増えた。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	18,420		卒業生の方が入学生より1名多く若干の稼動減
支出	16,688		拠点移転に伴う経費も落ち着くため若干の減

② 主課題

- ・支援の質の向上。集団に繋がるような個別支援を実施していく。
- ・卒業後の進路先、ヘルパーとの連携。進路先の仕事をつみきで体験、個別の関わりを引き継ぐなどで連携し、本人の自発的な発信を楽しみながらつける支援を行う。
- ・2018年度に向けて、実習受け入れ、放課後等デイ、支援学校先生に学生募集を周知強化。

③ 年間事業計画(予定) *外出は学生さんが決めます。

4月	入学式・農作業・外出	10月	農業・外出
5月	農作業・外出	11月	農業・外出
6月	懇談	12月	懇談・クリスマス会
7月	農作業・外出	1月	成人式
8月	外出	2月	外出
9月	キャンプ・農作業・懇談	3月	懇談・卒業式

☆全国専攻科(特別ニーズ教育)研究会:「特別なニーズ教育を必要とする青年たちの専攻科、大学や生涯にわたる学習の充実、発展を目指す」目的で、2004年に発足した団体です。

つみきも2014年から加盟しています。2016年度は、全国大会が大阪で開催されて、総合司会につみきスタッフの高橋優子選ばれ、学生さんたちは、緊張しながらも舞台上で発表を行いました。

★就労支援ジョブコーチ事業:薬局チェーン店の店舗で直接雇用されている障がいのある従業員への支援・相談などの対応を、ライフサポート協会への委託業務として契約し、「つみきサテライト」所属の職員が担います。今後は事業所利用者の就職支援にもつながる可能性もある事業になります。